

# 関西大学経済・政治研究所 第230回産業セミナー

聴講自由

## 【開講の挨拶】

大阪を中心とした関西経済は、幕末の開港の頃から主としてアジアとの関係性を軸に発展を遂げてきた。明治後期から本格化した近代紡績業をはじめとする関西における工業化の進展は、綿花を輸入したインドや綿製品や雑貨を輸出した中国や朝鮮半島といったアジアとの関係性なしには成立しなかった。またその過程では中国系商人を中心とするアジア各地の商人たちが関西とアジア各地との経済関係を強めるために貢献していた。本セミナーでは、そのような関西経済とアジアとの関係性について、主として経済史的視座から考察したいと考えている。

＜アジアにおける近代大阪の発展研究班 主幹 西村 雄志＞

日 時：2018年10月31日(水)13:00～16:10

会 場：関西大学 千里山キャンパス  
児島惟謙館2階第2会議室

## 【テーマと報告者】

### 「工業所有権からみる明治後期大阪」

アジアにおける近代大阪の発展研究班 研究員  
関西大学 商学部教授

西村 成弘

### 「西部大開発」から「一带一路」へ

### —中国西部地域の現状と将来—

アジアにおける近代大阪の発展研究班 研究員  
関西大学 経済学部教授

北波 道子

- ◆ 対象者 経営者、企業・行政関係者、社会人
- ◆ 聴講自由 参加ご希望の方は、当日会場にお越しください。(定員70名)
- ◆ 連絡先 〒564-8680 吹田市山手町3丁目3番35号  
関西大学研究所事務グループ TEL (06) 6368-1179/FAX (06) 6339-7721  
<http://www.kansai-u.ac.jp/Keiseiken/>

主催  
後援

関西大学経済・政治研究所  
大阪商工会議所  
大阪市工業会連合会  
大阪市産業経営協会  
株式会社りそな銀行



関西大学

